

北海道再生!!

一人に温かい道政

道政ニュース



高橋とおる

発行 2018年冬~春号 No.59
高橋とおる事務所

〈自宅〉函館市美原4丁目2番14号
TEL・FAX 47-0867



二〇一八年年頭にあたって

皆様にはつつがなく新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、政治的には米国トランプ大統領の就任から始まり、森友・加計学園問題、共謀罪の強行採決、北朝鮮の度重なるミサイル発射、憲法五三條による野党の臨時国会開催要求を無視、解散総選挙、民進党の解体となった前原事件、立憲民主党の立党など、様々な事が起きましたが、何にもまして心配なのは、安倍一強による民主主義の破壊です。

国会は与党と官邸による高圧的な運営が日常化し、官僚は我が身可愛さを背景に権力に寄り添い、大企業は利潤のためにモラルさえかなぐり捨てると、責任感や倫理観を欠いた政・官・業の姿は社会的な意義を失いつつあり、その結果、民意は蔑ろにされ、弱い所ばかりにしわ寄せが押しつけられています。

道内においても、高橋知事の就任以来、人口減少に歯止めがかからず、地方の過疎化が進み、基盤産業を支える力が弱まっています。さらに、この先にはTPP11やEU・EPAによる農業や酪農への深刻な影響、規制緩和による漁業権の民間企業取得等が進められるなど、食糧基地である北海道の一次産業は、先の見えない状況に追い込まれることが危惧され、JR北海道問題も早急に結論を導き出さなければなりません。

今年もなかなか明るい展望が見いだせない年となりそうですが、ただ見守っているだけではなく、道民や地元の方々の不安を解消し、その思いを道政や国政に反映する代弁者として活動して参る所存ですので、変わらぬご支援をお願いし年頭のご挨拶とさせていただきます。

北海道議会議員 高橋 亨

北海道地方路線問題調査 特別委員会を設置

JR北海道の維持困難
路線や経営見直しに関わ
る課題を集中的に協議す
るため、道議会内に「北
海道地方路線問題調査特
別委員会」を一七名の委
員をもって設置しました。

未だにそれ以上の鉄路に
対するビジョンは示して
いません。

一方、JR北海道が花
咲線の沿線自治体に対
し、過疎債を活用した上
下分離方式を具体的な数
字を示して説明し、沿線
自治体の首長からは「検
討に値する」と前向きな
意見が出されました。

この上・中・下の担い
方は、もう少し検討が必
要だと思いますが、これ
に経済界（観光業界関連
含む）、一次産業・物流
関係（貨物輸送関連）、
教育機関（通学支援）、
医療関係（通院支援）な
どの他、全国の北海道鉄
道に思いを寄せる方から
クラウドファンディング
を募集するなど、財政支
援体制を確立して、まさ
しくオール北海道による
鉄路維持を実現すべきで
はないかと考えます。

今定例会の予算特別委
員会知事総括質疑におい
て、知事はJR北海道に
対する財政支援につい
て、車両更新や駅舎修復
などの設備投資や修繕に
限定して支援する事を表
明、さらに、「上下分離
方式については想定して
いない」ということも明
らかにしました。

また、「中」について
は駅舎に住民が集う施設
の併設や観光客が立ち寄
る魅力的な施設などに自
治体が関与し、列車など
の車両も地域性が盛り込
まれた特徴のある車両を
用意するなど、様々な工
夫に取り込み、「下」につ
いては、JR北海道のノ
ウハウを活用し、JR北
海道の子会社あるいは三
セクなどを設立し、派遣
や移動で技術者の雇用と
技術の継承を確保する。

知事は「上下分離方式
を想定していない」とす
る一方、JR北海道と沿
線自治体は上下分離方式
を推進するための検討を
具体的に始めようとして
います。

今回の道の「車両更新や
駅舎の修復等」への財政
支援は、この上中下方式
への伏線として捉えて、
新たに道議会に設置する
「北海道地方路線問題調
査特別委員会」で十分に
協議するべきだと思いま
す。

知事は以前から赤字補
填のための支援はしない
と発言していましたが、
その考え方に沿った
支援策と言う事ですが、

ここに、大きな溝が出
来そうな状況が生まれて
いますが、私は、これま
で、上下分離あるいは上
中下分離方式を採用すべ
きと主張してきました。

中下分離方式を採用すべ
きと主張してきました。

また、「中」について
は駅舎に住民が集う施設
の併設や観光客が立ち寄
る魅力的な施設などに自
治体が関与し、列車など
の車両も地域性が盛り込
まれた特徴のある車両を
用意するなど、様々な工
夫に取り込み、「下」につ
いては、JR北海道のノ
ウハウを活用し、JR北
海道の子会社あるいは三
セクなどを設立し、派遣
や移動で技術者の雇用と
技術の継承を確保する。

国への予算要望

定例会終了後の一二月
一四日、会派の役員と共
に東京に向かい、一五日
早朝から北海道選出国会
議員との打ち合わせ後
に、各省庁への予算要望
を行いました。

今回は、総選挙で民進
党が、希望の党、立憲民主
党と三党になり、異例で
したが、三党の国会議員
共々の要請となりました。
時間が限られているこ
とから、六省庁に絞り、
次の要請を行いました。



国土交通省へ2019年度予算に関する要望 (12/15)

- △総務省▽
 - ・ 地方財政の充実強化
- △国土交通省▽
 - ・ JR北海道問題への積極的関与と財政支援
 - ・ 北海道新幹線の札幌延伸の加速化と青函トンネルの高速化
 - ・ 道内航空ネットワークの維持強化
- △農林水産省▽
 - ・ 国際貿易交渉の情報公開と影響予測の公表
 - ・ 漁業・水産加工業への支援
- △厚生労働省▽
 - ・ 地域医療の確保
 - ・ 少子化対策・子育て支援・介護従事者の確保対策
 - ・ 労働者に寄り添った働き方改革
- △内閣官房▽
 - ・ アイヌ政策の推進
- △内閣府▽
 - ・ 北方領土の早期返還
 - ・ 隣接地域振興基金の安定的な運用

写真で見る主な活動

※詳しい活動報告はホームページに掲載しています。



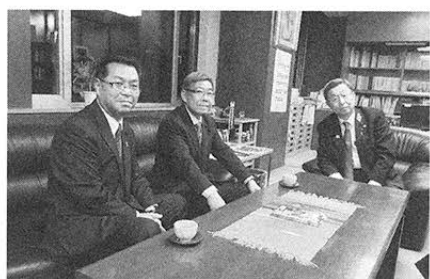
美原町会の文化祭・芸能大会での挨拶 (11/4)



北斗市長杯第12回道南わんぱく柔道大会へ出席 (11/5)



救護施設・高丘寮への慰問 (11/11)



道人事院勧告の履行を窪田副知事へ申入れた (11/15)



道南退職者会連絡会第24回総会での挨拶 (11/22)



第48回衆議院選挙総括会議での挨拶 (11/26)



道南地方本部青年部第1回定期総会に出席 (12/2)



みちはた克雄市議と語る会での挨拶 (12/2)



民進党北海道第8区総支部党员・サポーター集会 (12/17)

第4回定例会で採択された決議・意見書

- ・ 朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射に抗議する決議
- ・ 将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- ・ ライドシェアの推進に対する慎重な審議を求める意見書
- ・ 産業用大麻の産業化に向けた縁様な環境整備を求める意見書
- ・ 朝鮮民主主義人民共和国からの不審船に関する意見書

高橋とおるホームページ

私、高橋とおるが活動の中で感じる国政や道政等に関する想いを随時掲載しています。是非ご覧下さい。

<http://www.t-tooru.com/>